

大小山山行報告

【山行日】 2022年 8月 21(日)曇り後晴れ

【集 合】 岩舟支所P AM 6:00

【費 用】 マイカー2台 : 500円

【メンバー】 CL:鈴木、 SL大西、

青柳、飯口、大塚、鈴木ミ、関、並木、福島

【コースタイム】岩舟支所P6:00＝阿夫利神社

P6:20/6:35～西場百観音 6:50/7:00～妙義山

8:20/8:30～あいの山 9:10/9:20～妙義山

10:00/10:10～大の字 10:20/10:30～阿夫利神社P

11:00/11:10＝永華 11:40/12:40＝岩舟支所 13:00



今日は雨飾山と日光社山の2つの山行が計画されていたが、どちらも天気が悪い予報の為中止となった。栃木県南部は曇りの予報なので、新入会員のS木さんのトレーニング山行で大小山を計



画した。会員の皆さんに山行案内を送ると8名の申し込みがあり、9名が2台の車に分乗し岩舟支所を出発する。阿夫利神社駐車場に車を止め、トイレとストレッチを済ませて出発する。山道と反対側に舗装道を歩き、西場百観音に向かってのんびり歩いて行く。皆さんは楽な道路歩きに会話が弾み、賑やか過ぎる歩きで百観音に着いた。初めての方が多く、百観音を見学してからスタートする。イノシシ避けの柵を開けて登山道に入り、しばらく平坦な道を進むと西場富士への標識がある。

ここにもイノシシ避けの柵があり、柵を開けて西場富士への登りに取付く。段々急傾斜の登りになり、汗が滴り落ちてくると西場富士山頂に着く。

休憩を取りトマトや菓子を食べ、水分を補給する。ここからは尾根歩きとなり、一旦下ってから登り返しアップダウンを繰り返しながら登って行く。この時季の低山ハイクは暑さに負けるが、曇っているのもそれほど暑さを感じない。稜線を気持ち良く歩き、時折展望が開け、大小の白い文字が望める。

岩場の登りが出てくると、SLから「S木さんに岩場の登り方を教えてあげて」と言われ、我輩が基本的な3点確保や岩から体を離すこ



と等、実際に登って見せながら教える。妙義山までの岩稜を一緒に登り、岩場の登りを体感してもらう。妙義山で休憩し、ナシやゼリーを食べ景色を楽しみ、この先のあいの山まで足を延ばす。岩尾根を下り鞍部の手前に急なクサリ場があり、ここでも岩場の下り方を教えながら降りる。

鞍部から登り返しの急登になるが、このころから気温が上がり辛そうな登りになる。登り返した山頂が毛野山で、さらに下ってヤセた岩稜を進み、登り返したピークがあいの山である。あいの山山頂



で休憩し、展望を楽しんだら来た道を戻り妙義山まで登り返す。往路よりも妙義山までの復路がきつく、皆さん大汗をかいて妙義山に戻った。山頂でご褒美のプリンをいただき、汗が引いたら記念写真を撮り大小山へ向かって下る。ザレた岩場の下りは滑りやすく、転ばないように慎重に下って行く。地元の常連さんが登って来て、先頭のSLに話しかけしばらく待たされる。中々話が終わらないので、「行くぞ」と声を掛けるとようやく出発する。鞍部から岩場を登ると大

小山山頂で、記念写真を撮ったら下山する。すぐ先から左に大小の文字に向かって下り、鉄の階段を降りると東屋が立つ大小の展望台に出る。ここで最後の休憩を取り、残ったおやつをいただいたら下山する。山道を下ると分岐となり、下りは安全な女坂を下って行く。阿夫利神社駐車場に着き、靴を履き替えトイレを済ませたら小倉屋へ向かう。西場百観音前を通り、県道175号線を左に進むが後続車が見えなくなった。まあ解るだろうと小倉屋まで行くと、なんと臨時休業の張り紙がある。日曜日に休むなんて余裕の店だなと思ったが、仕方がない。SLの車にTELすると小倉屋が分からなくて、さまよっているとの事。場所を確認しその場で待つように指示し、無事に合流して永華に向かう。永華に着くと順番待ちの列が出来ていた。順番表に名前を記入し、我輩が待つので皆さんはアグリタウンで買い物をお願いしてもらう。30分くらいで皆さんが戻ると順番が来て、座敷とテーブルに分かれて席に着く。ギョーザとラーメンが運ばれてきて、皆さん美味しそうに食べていた。暑さで大変な方もいたが、岩場のトレーニング、暑さ対策が出来有意義な一日となった。